

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-9681149
FAX 0265-7691117
E-mail gkj@nacity.jp



危機管理についての提言

伊那市議会では、昨年の台風19号の災害を受け、危機管理をテーマに講師を招いての議員研修会や議員懇談会を重ねてきました。出された意見の中から3点を重要課題として取り上げ、3分科会でより議論を深めてきました。4月にはその結果をまとめ市長に提言をしました。協議された内容を報告します。



提言時の様子

①「地域内のコミュニケーショント力の向上」について

緊急課題として、主に仕組みづくり・人づくりの観点から

以下協議しました。

- 防災リーダーの養成
地域を一番よく知る隣組規模で、役員はあて職でなく継続性重視の体制を構築し、日頃から防災意識を醸成する必要があります。
- 隣組規模の防災計画の策定を推進
区単位での防災組織は規模が大きく、情報を共有することが難しいため、隣組規模で子どもや女性が参加した機能的な計画づくりが必要である。例えばゲーム形式の

防災研修などを通じ、実効性を持つもの等。

- 災害種類別のマニュアル作成
地域により、関心のある災害が異なることから、地域の特徴に応じた災害種類別のマニュアルを作成し、共有していく。それを継続的に支える行政の力も必要である。

②情報伝達手段について

主に、防災無線の改修と可視化の点で協議しました。

- 防災無線の有効活用
デジタル化して数十年経っており、早急なシステム更新が必要である。「伊那ケーブルテレビ」、「いなあいネット」と自動連動できるシステム構築が不可欠であり、その加入促進に向け積極的な支援が必要である。

- ・安心安全メール
情報伝達機能として重要なツールである。多くの市民に対し積極的な登録推進が必要である。
- ・SNSの活用
伊那市公式ツイッターの周知に力を入れ、現在導入されて

ていないLINEについても検討が必要である。

- 災害時住民支え合いマップ
情報伝達手段の補完システムとして、市と区長会及び各区自主防災組織が連携し組単位までの支え合いマップ作成を、財政的な支援を含め、行政側の指導力のもと推進する必要がある。



議論の様子

③「避難所のあり方含む」(避難所のあり方含む)について

昨年の台風19号時に発令された避難指示を踏まえ、次の3項目を協議しました。

- まず避難をする過程において、自分がどこに避難所に向かえばよいか判断に困る

- 安全な避難所を数多く確保する観点から、災害に対して立地条件も良く大人数を収容できるといった考えに基づき、民間会社の施設を避難所として使用できるような連携協定の検討を必要とする必要がある。
- 避難所の場所が土砂災害警戒区域内であるケースが見受けられるため、避難所の安全性について災害別に検証をする必要がある。

—6月定例市議会の放送予定日—

伊那市チャンネル 6月番組(予定)表		伊那ケーブルテレビ
		デジタル 11ch, C511ch
生放送	再放送	
5月29日 議会開会	6月21日の18:00~順次再放送します。日程については伊那市チャンネル等でお知らせします。	
6月9日 一般質問(1日目)		
6月10日 一般質問(2日目)		
6月11日 一般質問(3日目)		
6月19日 議会閉会		

※過去の録画を議会ホームページで見たいだけです。 ※伊那市議会の活動などをFacebookで発信しています。 ※YouTubeで委員会審議の録画中継をご覧いただけます。

文責 議会だより編集委員会